

2021年度北陸信越支部事業報告 (2021/2/1 ~ 2022/1/31)

北陸信越支部庶務幹事 古本達明 (金沢大学)

広報・情報部会委員 林 晃生 (金沢工業大学/石川県)

1. 支部会員数の変遷

下表は、北陸信越支部の過去5年間における種別ごとの会員数の推移である。学生会員の増強に向けた取り組みの1つとして、全国大会や支部講演会で指導学生による発表を積極的に行っているため学生会員数に大きな変動はない。また、卒業後に正会員として継続する学生会員が少なく、正会員数の減少傾向が続いていたが、ここ数年は横ばいの状況である。賛助会員について、支部独自に設けている支部技術賞や特別講演会などを通して勧誘を継続した結果、今年度は賛助会員が増えた。一方、本支部を構成する県によっては、支部役員や商議員・評議員の選出が難しくなっており、各種会員の増加に向けた取り組みが必要である。

	'17/07	'18/07	'19/07	'20/10	'21/10
正会員	239	236	222	218	219
学生会員	71	64	71	70	69
賛助会員	16	17	13	12	13
名誉会員	6	6	4	6	6
フェロー	5	5	7	7	7
永年会員	5	5	7	7	6

2. 支部役員

2021年度の支部役員および本部役員・委員は以下のとおりである。

I. 支部役員

支部長 藤垣元治 (福井大学/福井県)
 副支部長 新田 勇 (新潟大学/新潟県)
 幹事 古本達明 (金沢大学/庶務幹事/石川県)
 小谷野智広 (金沢大学/会計幹事/石川県)
 森本喜隆 (金沢工業大学/監事/石川県)
 松岡浩仁 (信州大学/長野県)
 小林義和 (新潟工科大学/新潟県)
 保田俊行 (富山大学/富山県)
 千徳英介 (福井工業高等専門学校/福井県)
 活性化委員 高杉敬吾 (金沢大学/石川県)

II. 本部役員

理事 細川 晃 (金沢大学/石川県)
 藤垣元治 (福井大学/福井県)

III. 本部委員

出版部会/会誌編集委員 東海支部より

3. 2021年度支部活動

2021年度に開催した講演会・見学会等のイベントは以下の通りである。

3.1 学術講演会

開催日：2021年11月13日(土)

開催方式：WEBによるライブ配信形式

WEB学会本部：福井大学文京キャンパス

協賛：(一社)日本機械学会北陸信越支部

基調講演：

「材料表面の強さの見える化・評価技術の開発」, 福井大学特命教授・名誉教授, 岩井善郎

技術賞受賞講演：

(1)「工作機械の主軸状態監視システムスピモニー」高松機械工業(株), 金沢大学

(2)「ワンタッチ接続型ストッカー「Plug One」の開発」中村留精密工業(株)

講演件数：54件, 4室12セッション (医療・福祉応用. 計測制御①②, 工作機械, 機械・特殊加工①トライボロジ, AM, ②レーザ加工, 放電加工, ③研削加工, 研磨加工, 切削加工, ④トライボロジ, AM, ⑤放電加工, パニシング加工, ⑥研磨加工, 切削加工, ⑦AM, エッチング, 表面仕上げ, ⑧切削加工)

参加者：93名

ベストプレゼンテーション賞：9件, 受賞者：松岡昂輝 (福井大学), 山崎将道 (金沢大学), 中尾円香 (金沢大学), 澁谷悠佑 (金沢大学), 山本玲結 (福井大学), 坪内光太郎 (金沢大学), 佐々木友也 (金沢大学), 小杉幸樹 (金沢大学), 高島孝太 (長岡技術科学大学)

3.2 支部総会

これまで北陸信越支部学術講演会の会期中に行っていたが、WEBによるライブ配信形式で学術講演会を実施したことにとともに、総会資料を支部HPで公開し、対面による総会は実施しなかった。

3.3 各県企画特別講演会・見学会等

(1) 特別講演会 (富山)

期日：2021年3月5日 (金)

会場：大学コンソーシアム富山 駅前キャンパス 研修室1

開催方式：対面およびWEBによるライブ配信

特別講演：

「スワーム やわらかな自律分散システム・アーキテクチャ」広島大学 大倉和博

「消えるロボットを創りたい」京都大学 松野文俊

参加者：31名

(2) 特別講演会(長野)

期日：2021年8月25日(水)

会場：メルパルク長野

開催方式：WEBによるライブ配信

特別講演：

「国のPlus活動の紹介」NEDOイノベーション推進部 吉満健一

「横断的産学連携と両利きの経営による医療機器展開、材料開発と超精密加工と医療機器設計技術の連携」(株)

小松精機工作所、(株) ナノ・グレインズ 小松隆史

参加者：40名

(3) 特別講演会(新潟)

「スイス時計業界のハイテク材料への挑戦」

期日：2021年10月5日(火)

共催：長岡技術科学大学 工作センタ、長岡技術者協会

会場：長岡技術科学大学

開催方式：WEBによるライブ配信

講師：元並木精密宝石(株) 矢口洋一

参加者：120名

(4) 特別講演会(新潟)

「新ポリアキシャルロッキング機構を採用した日本人橈骨形状に適合するアナトミカルロッキングプレートの開発」

期日：2021年11月24日(水)

後援：新潟大学 生体材料・医用デバイス研究開発センタ

会場：新潟大学

開催方式：WEBによるライブ配信

講師：ミズボ(株)五泉工場 技術部開発グループ 山田崇史、同技術課 藤田淳一

参加者：101名

(5) 善光寺バレー研究成果報告会 2021(長野)

期日：2021年11月26日(金)

共催：(一社)長野高専技術振興会、国立長野高専地域共同テクノセンタ、(公財)長野県テクノ財団善光寺バレー地域センタ、(公社)精密工学会北陸信越支部、スマートネットワーク

開催方式：WEBによるライブ配信

発表：①「顕微鏡観察によるマテリアルの組織解析と開発」長野高専 押田京一

②「放電加工における極間現象の観察」長野高専 小野伸幸

③「鋼構造物に対する炭素繊維シートを用いた補修・補強技術に関する研究」長野高専 奥山雄介

④「複合材料研究の視点からの材料の設計と機能化」長野高専 滝沢善洋

⑤「DX(デジタルトランスフォーメーション)をどのように進めていくか」シソーラス(株) 荒井雄介

⑥「デザイン思考による当社のデジタル製品開発」オルガン針(株) 戸谷豊

⑦「スマホ世代の社員教育」(株) 匠電舎 轟修平

⑧「エッジコンピューティング導入による安心安全な社会と誰もがTRYできるシステム開発環境」(株) ソルティスタ 岩井昇一

特別講演：「臨床ビッグデータと人工知能を活用した創薬」京都大学 金子周司

(6) 特別講演会(石川)

「オープンアクセス化が進む学術誌のしくみと研究者としての在り方を考える」

期日：2021年12月9日(木)

共催：日本機械学会北陸信越支部、日本材料学会北陸信越支部、金沢大学設計製造技術研究所

会場：金沢大学角間キャンパス

開催方式：WEBによるライブ配信形式

特別講演：

「日本の学術誌の現状と未来」元クラリベイト・アナリティクス・ジャパン(株) 棚橋佳子、クラリベイト・アナリティクス・ジャパン(株) 熊谷美樹

「オープンアクセス時代の学術情報流通とCCライセンス」クリエイティブ・コモンズ・ジャパン(NPO法人コムンスフィア)、国際大学グローバルコミュニケーションセンタ 渡辺智暁

「研究者はサイテーションやコモンズとどうつきあうべきか？」京都大学 松原厚

パネルディスカッション：

「急速に変革する学術誌に対応する研究者・技術者の在り方」モデレータ：金沢大学 古本達明

参加者：51名

4. 支部表彰

<2021年度支部技術賞>

(1) 工作機械の主軸状態監視システムスピモニー

受賞者：鈴木直彦、廣野遼、金子義幸、打越吉弘(高松機械工業(株))

高杉敬吾(金沢大学)

(2) ワンタッチ接続型ストッカー「Plug One」の開発

受賞者：山本綾香(中村留精密工業(株))

<2021年度支部奨励賞>

応募締め切り：12月末

5. おわりに

コロナウイルスの感染拡大に伴い、昨年度から引き続き支部講演会をライブ配信形式で実施した。発表者・聴講者が一堂に会した講演会を実施できなかったが、ライブ配信

形式が定着して大きな混乱はなかった。参加者同士の交流が活発に行えないことは課題である。北陸信越支部は、正会員数および賛助会員数が横ばいの状況であるが、支部の活性化に向けた企画や会員増強に向けた取り組みを強化していく。2022年秋は、当支部にて全国大会秋季大会を開催予定であり、この準備も滞りなく進めていく。